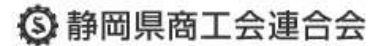


News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【平成 30 年 6 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび平成 30 年 6 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 平成 30 年 6 月 30 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【季節商材の需要が業況 DI を押し上げ】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-3.7（前月-5.2、前年同月-10.1）で、前月比 1.5pt の好転となった。各地・各業種において人手不足による影響は根強い中、衣類やエアコン等季節商材に係る需要の伸びがわずかながら業況を好転に押し上げた。

【製造業】

業況は 5.9（前月 1.0、前年同月-3.0）と前月に比べ 4.9pt の好転を示した。取引先からの大型受注やエアコン等季節商材関連で受注が伸びた事業所もあり先月から業況が好転した。

【建設業】

業況は 2.9（前月 8.8、前年同月-2.9）と前月と比べ 5.9pt 悪化した。来年の消費増税に向けた受注増加があるものの、人手不足や人手不足に伴う人件費の増加が課題になっている地域もあった。

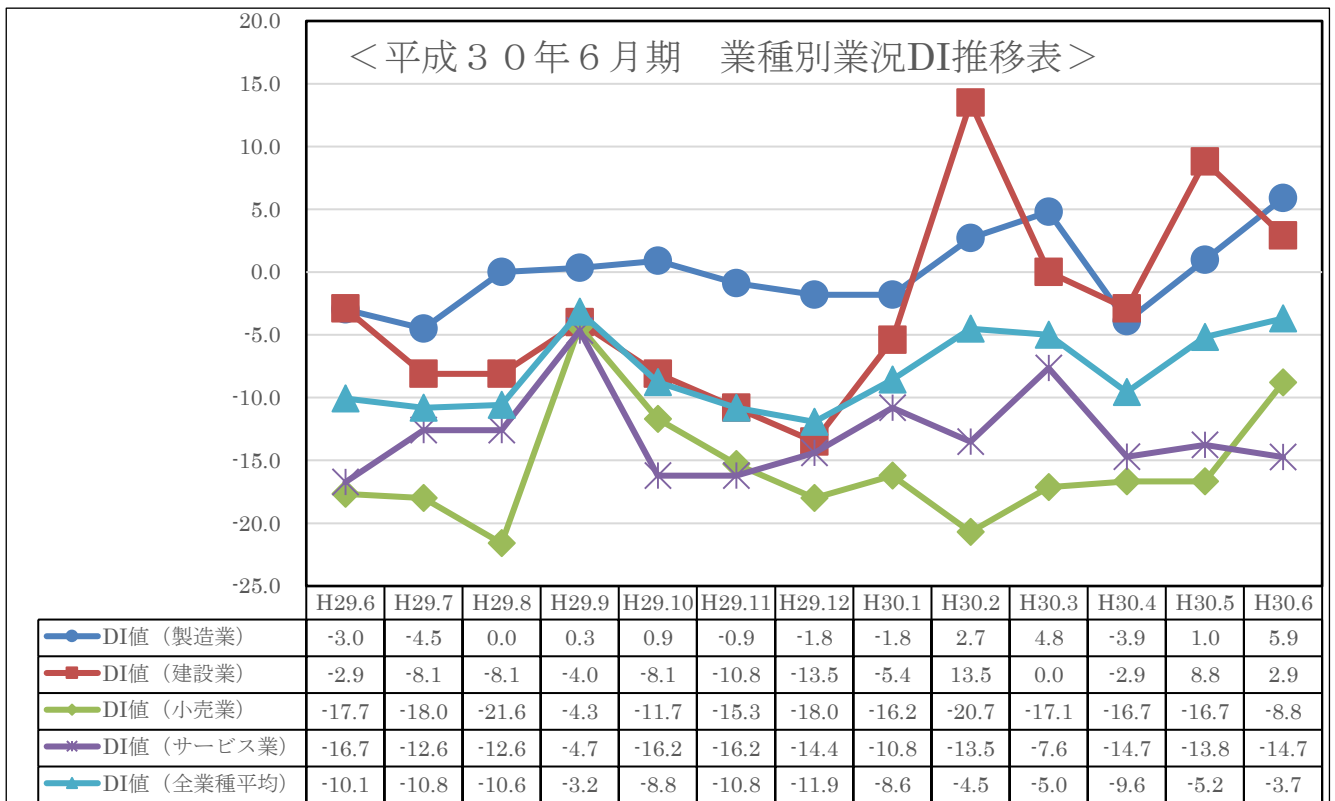
【小売業】

業況は-8.8（前月-16.7、前年同月-17.7）と前月から 7.9pt 好転した。野菜仕入れ値の高騰による利益の圧迫や、少量ものの需要増による顧客単価の伸び悩みを不安視する事業所がある中、衣替え需要や暑さによるエアコン等の需要が伸びたことが業況の好転に繋がった。

【サービス業】

業況は-14.7（前月-13.8、前年同月-16.7）と前月と比べ 0.9pt 悪化した。4 月以降業況は横ばいとなっており、人手不足や人手不足による人件費の高騰は今後も続くと思込まれる。また、コインランドリーの利用者の増加に不安を感じているクリーニング店の声も聞かれた。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：高野・中村〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・機械加工業は発注元が従業員不足のためか受注は忙しい状態が続いている。（伊豆）
- ・機械製造業はエアコン部品の受注が好調である。（富士駿東）
- ・桜エビ漁が近年稀に見る不漁で、原材料の不足や価格高騰が深刻化している。（中部）
- ・昔、取引のあった業者から茶の大きな受注があったため卸売の売上が増加した。（中東遠）
- ・廃業した零細下請け企業の仕事を他の下請け企業に依頼するもコストが厳しい状況であることから、引き受ける企業を探すのも大変とのことである。（西遠）

【建設業】

- ・地区内での元請け工事はなかった。（伊豆）
- ・建設業界全体に人手不足感が強い。また、6月は雨の日が多く、作業の遅れが問題として大きくなっている事業者もある。（富士駿東）
- ・作業員の高齢化と人材不足が大きな問題となっている。また、補修工事が主で、新着着工はほとんどない。（中部）
- ・来年の消費税増税を見据えた住宅建設の増加があるものの職人不足が課題である。（中東遠）
- ・仕事の受注があるものの人手不足に伴う人件費の高騰から利益があまり出ていない。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

- ・衣替えの季節でもあるため、売上のやや良かったように見受けられる。（伊豆）
- ・客数の大きな変化はないが、少量ものの需要が多くなり、単価が上がりにくい。（富士駿東）
- ・野菜の仕入れ値の高騰により利益率確保が厳しい状況である。（中部）
- ・暑さに伴いエアコン等の需要が好調だった。（中東遠）
- ・暑さにより来店客が減少気味である。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・旅館業では毎年売り上げが減少する時期だが、今年は落ち込みが大きかった。（伊豆）
- ・宿泊業（ホテル）は人件費が上昇傾向にある。（富士駿東）
- ・工事関係者の滞在宿泊は工事が落ち着いてきたため横ばいとなった。（中部）
- ・クリーニング店はコインランドリーの利用者の増加に不安を感じている。（中東遠）
- ・店主が高齢化したクリーニング店では既存設備の故障を機に廃業を検討している。（西遠）

小規模企業景気動向調査（平成 30 年 6 月末）

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	5.9	-5.9	好転
売上	11.7	-5.9	増加
仕入単価	35.3	29.4	上昇
採算	-2.9	-11.7	好転
資金繰り	0.0	-11.8	好転

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-5.9	-5.9	不変
売上	-5.9	-11.8	増加
仕入単価	23.5	8.8	上昇
採算	-8.8	-11.8	好転
資金繰り	-2.9	-5.9	好転

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	17.7	14.7	好転
売上	38.2	32.4	増加
仕入単価	32.4	23.6	上昇
採算	11.8	5.9	好転
資金繰り	3.0	2.9	好転

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	2.9	8.8	悪化
売上	5.9	5.9	不変
仕入単価	17.6	20.6	低下
採算	-5.8	-5.8	不変
資金繰り	-8.8	-11.8	好転

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-11.7	-23.5	好転
売上	-8.8	-14.7	増加
仕入単価	11.8	11.8	不変
採算	-5.9	-20.6	好転
資金繰り	-11.8	-20.6	好転

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-8.8	-14.7	好転
売上	-5.9	-14.7	増加
仕入単価	26.5	35.3	低下
採算	-20.6	-41.2	好転
資金繰り	-8.8	-14.7	好転

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-5.9	-11.8	好転
売上	5.9	-5.9	増加
仕入単価	8.9	11.8	低下
採算	0.0	-8.9	好転
資金繰り	-11.8	-11.8	不変

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-8.9	-8.9	不変
売上	-20.6	-11.7	減少
仕入単価	14.7	17.7	低下
採算	-14.7	-20.6	好転
資金繰り	-11.8	-17.6	好転

9.洗濯業

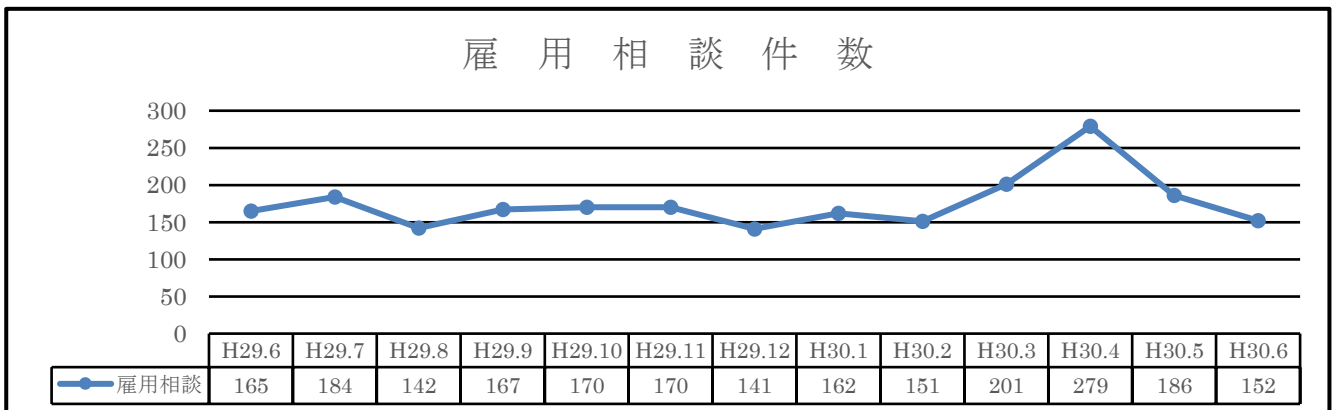
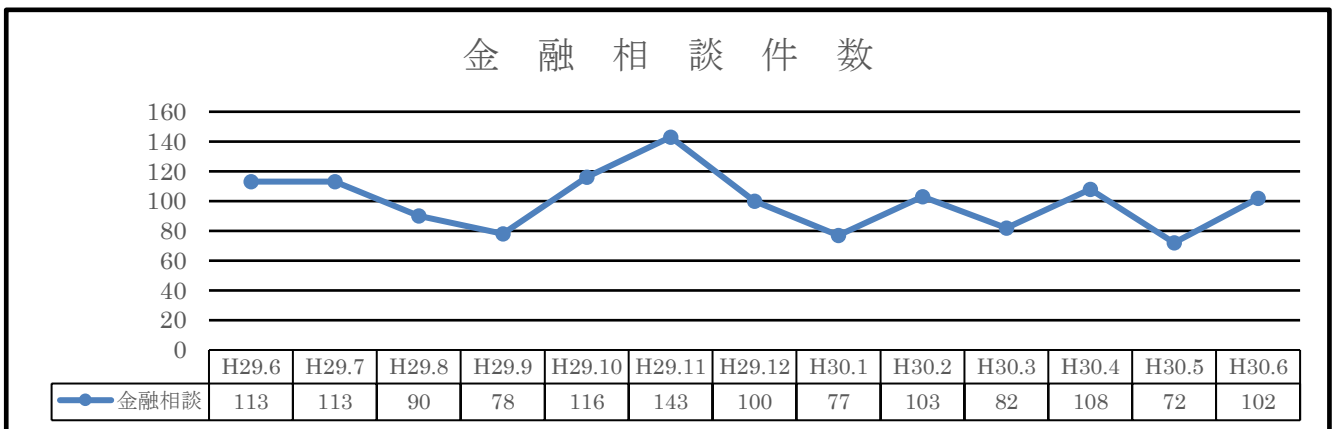
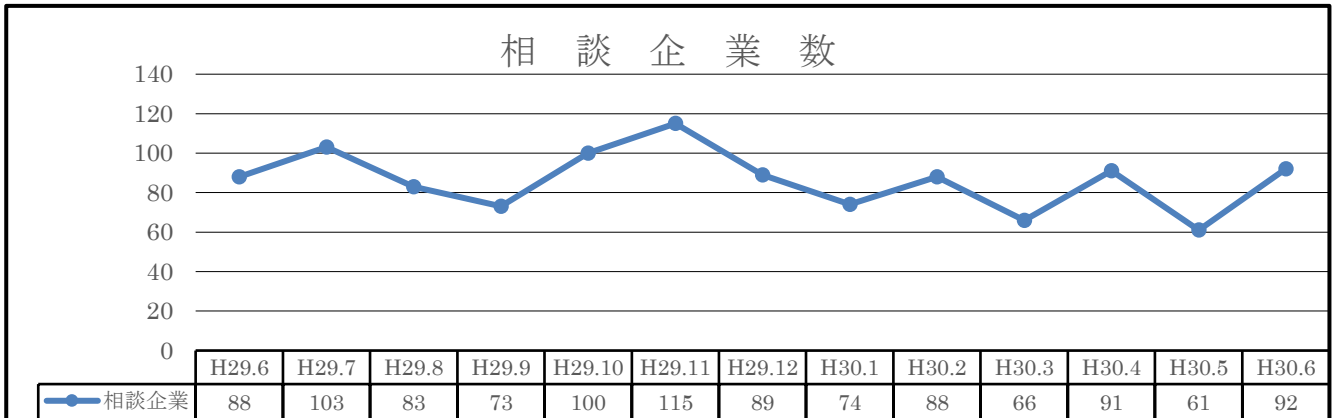
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-29.5	-17.7	悪化
売上	-8.8	-3.0	減少
仕入単価	17.6	14.7	上昇
採算	-14.7	-11.8	悪化
資金繰り	-8.8	-8.8	不変

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-5.8	-14.7	好転
売上	14.7	-2.9	増加
仕入単価	0.0	5.9	低下
採算	5.9	0.0	好転
資金繰り	5.9	-2.9	好転

金融・雇用相談実績月次報告(平成 30 年 6 月期)

内容別内訳 (※ 1 件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	92	61	31
【金融相談件数】	102	72	30
新規融資（借換えを除く）	62	42	20
既存債務の借換え	35	23	12
借入れ条件変更	2	1	1
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	3	6	-3
【雇用相談件数】	152	186	-34



【金融相談】

金融相談件数は、102件と前月(72件)に比べ30件増加した。新規融資に関する相談が62件と、既存融資の借換え(35件)を27件上回っている。

<経営指導員コメント>

- ・飲食店から店舗立替計画があるとのことで金利の安い融資制度紹介の相談を受けた。また、家具製造業から作業場建設計画があるとのことで、融資申込み方法の相談を受けた。(伊豆)
- ・当市では、「ソーシャルビジネス支援ネット」が開設されており、6月21日に相談会を実施した。(富士駿東)
- ・一日公庫相談を実施し、3件の対応を行った。(中部)
- ・既存債務の借り換えの相談が多いが、設備資金(フォークリフトや営業車両など)購入の相談も出始めてきた。(中東遠)
- ・政策公庫の借入勧奨もあり、マル経融資の申込や相談が増えてきたものの、前向き資金との消極的な資金の二極化が見られる。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、152件と前月(186件)に比べ34件減少した。人手不足が続く中、若者の志向に合わせた採用条件に変更することで対応している事業所に関する報告や人手不足に悩む事業所への支援事業として新たに外国人技能実習生の受け入れ事業を開始した商工会について報告があった。

<経営指導員コメント>

- ・夏期アルバイト確保が困難になっている。(伊豆)
- ・雇用保険資格取得に伴う適用範囲、離職証明書作成に伴う記載方法について対応を行った。
- ・外国人技能実習監理事業(ベトナムの実習生10名)を5月下旬より開始した。人手不足対応として外国人技能実習生受入に関心を持つ事業所が増えている。(富士駿東)
- ・求人前に助成金の有無等の確認相談が増加傾向である。(中部)
- ・6月に入ったこともあり、入退社による雇用保険の取得・喪失件数が少なかった。(中東遠)
- ・最近の若者は、賃金よりも休日や勤務体系を重要視している傾向があり、年間休日を増加させたり、残業や休日出勤を減少させると応募があったとの報告もあった。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・7/21 戸田港まつり、8/4 原浮島ふるさと夏まつりに向けて準備を進めている。(沼津市)
- ・7月の砂の祭典(青年部)、8月の商工祭りに向けて準備を進めている。(掛川みなみ)
- ・6/23 森の軽トラ市を主催した他、6/17 森の古着市(毎月第3日曜日)が開催された。(森町)
- ・11月開催の地域振興イベントに向けて第1回実行委員会を開催した。(浅羽町)
- ・7/28 今切体験の里海湖館での「海辺のおんぱく」(11の体験型プログラム)に向けて準備を進めている。(新居町)